

市長“おしゃべり” しませんか

市民の皆さんと市長が直接懇談するための新しい事業「市長と“おしゃべり”しませんか」がスタートしました。各区を回って開催している「タウントーク」とは別に、施設やイベントなどに市長が出掛け、気軽な「おしゃべり」を通して市政をより身近に感じていただくための催しです。

1月27日、東区の札幌市社会復帰センターで行われた第1回目の「おしゃべり」では、作業所で働く障がいのある方たちやそのご家族などが集まり、時には笑いを交えながら市長と語り合いました。

住み慣れた地域で、自立して暮らしたい！



Q

しめ飾りを作る仕事
をしています。もっと
作業所で作っている作品
を買ってもらえればいいと
思います。そしてお給料が
上がるといいなと思っ
ます。

A

「お給料を上げて！」
というのはよく分かるけ
ど、なかなか厳しい話です。
まずは地域の中に働く場が
ある、仕事があるということが
素晴らしいことですよ。僕も
以前、作業所で作ったしめ飾り
を買ったことがありますよ。多くの人に
知ってもらって、作品を買ってもらうこ
とができれば、みんなで使えるお
金を増やしていけるかもしれ
ませんね。



Q

好きな歌手は
いますか。

A

もり やまらうこ
森山良子さんや、
なかしま
中島みゆきさんが好きで
すね。氷川きよしさん？もちろ
ん知ってますよ（歌う）。昔から
音楽は大好きです。今日、歓迎
に演奏してくれた和太鼓も素
晴らしかった！今度教えて
ください。



社会復帰センターは、18歳
以上の知的障がいのある方を
対象に、木工芸やタオルの洗
濯、しめ飾り制作などの作業
を通じて、社会的な自立を目
指す施設です。
市長はタオルをたたむ作業
を体験したり、施設の利用者
と直接あいさつを交わしたり
しながら施設内を見学。その
後、利用者と保護者・職員を
交えて「おしゃべり」がスタ
ートしました。



Q

上田市長、仕事
の上での失敗は
ありますか？

A

そりやもう、たくさん
ありますよ！ただ、そこで
逃げないで、人に迷惑を掛け
ないようにすることが大事ですよ。
そして何よりも失敗を隠さないこと。
黙ってしようとか、ばれないようにし
ようと思わずに「ごめんなさい」っ
て素直に謝ることが大切だと
思います。

